

会 議 録

会議の名称		令和7年度第3回つくば市文化芸術審議会		
開催日時		令和8年（2026年）3月13日 開会 14:00 閉会 16:00		
開催場所		つくば市役所コミュニティ棟1階 会議室2		
事務局（担当課）		市民部芸術文化推進課		
出席者	委員 （計10名）	あきのえくこ、飯野哲雄、高嶋啓、田中佐代子、田中秀夫、 野中勝利、中川佳洋、林みちこ、萩原奈苗、松崎若美		
	事務局 （計8名）	稲葉市民部長、武笠市民部次長、矢口芸術文化推進課長、 佐藤同課長補佐、平野アートコーディネーター、 荒川文化施設係長、大見文化振興係長、川崎同主事		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由				
議題		<ul style="list-style-type: none"> ・「つくば市文化芸術推進基本計画（第2期）」について ・つくば市芸術文化創造拠点について ・芸術文化推進課の事業等について 		
確定年月日		年 月 日		
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 あいさつ 3 議事 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・つくば市芸術文化創造拠点整備事業について ・令和7年度芸術文化推進課下半期事業報告 ・令和8年度の予定について 4 その他 5 閉会 			

<議事内容>

1 開会

<矢口芸術文化推進課長（以下、矢口課長）より開会を宣言>

2 あいさつ

<野中会長よりあいさつ>

前回欠席された高嶋委員の紹介

3 議事

野中会長 ： それでは、会議次第に基づき議事を進めます。

 まず、本日の委員出席数は、委員 11 名のところ、10 名出席で過半数を満たしておりますので、条例第 13 条第 3 項の規定により本日の会議が成立していることを報告します。

 本日の報告事項は、

- ・つくば市芸術文化創造拠点整備事業について
- ・令和 7 年度芸術文化推進課下半期事業報告
- ・令和 8 年度の予定についてです。

 事務局より説明を受けてから、委員の皆さまに議論いただきたいと思います。事務局より説明願います。

<報告事項について事務局より説明>

【つくばアートスタジオたみやまについて】

あさの委員 ： 芸術文化創造拠点の名称決定についてです。審議会のメンバーがあらかじめ候補を見て投票されたと思います。候補の名称は「つくば田水山アートスタジオ」だったと思うのですが、決定した名称の語順が「つくばアートスタジオたみやま」に変わっていますね。どのように作者の方と検討されたのか教えてください。

- 事務局回答 : 御意見いただいたとおり、応募時の語順から調整して
(大見振興係長) おります。庁内での協議で「つくばアートスタジオたみやま」の順序が良いのでは、と検討いたしました。語順の変更とひらがな表記への変更については、すべて作者の方にご相談した上でご了承をいただいています。
- 田中佐代子委員 : 英語表記はどうなるのでしょうか？
- 事務局回答 : 英語表記では、「Tsukuba Art Studio Tamiyama」と
(大見振興係長) なります。パンフレットや看板では日本語と英語を併記し、外国の方にも理解いただけるようにデザインを進める予定です。
- 田中秀夫委員 : 実は最初、筑波山の眺望が活かせていないことに反対
しておりました。ですが、設計の改訂を経て、建物と庭と素晴らしい展望台ができることで、非常に満足しています。こうした工夫により、施設に色々なものを飾ることができるようになり、素晴らしい広がりがありました。最初の懸念が払拭され、素晴らしいものができて感激しています。
- あさの委員 : 3階の図書コーナーについてなのですが、美術関連の
図書を中心に集めるのか、また貸し出し機能は検討されているのか、現状の計画をお聞かせください。
- 事務局回答 : 美術に限らず芸術全般の図書を充実させる予定ですが、
(アートコーディネーター 平野) 貸し出し機能は現在検討中です。施設を利用するアーティストがつくばについて調べられるよう、地域資料も充実させたいと考えています。まだ正式発表前ですが寄贈を受ける予定があり、芸術のほか人文学、メディア・情報、哲学など、制作のヒントになる多様な本を設置

する計画です。また、地域の方にも利用しやすいよう子ども向けの本も配置予定です。個人的には、審議委員やアーティストの皆さんに選書していただく「おすすめ本」コーナーを設けられないかとも思っています。皆さんと一緒に書架を育てていければと考えています。

あさの委員 : 様々な人に向けた図書や寄贈本の受け入れを計画されているとのこと。コンセプトが分散してしまわないように、司書など専門知識のある人のアドバイスも必要ではないでしょうか。ぜひ中央図書館との連携もお願いいたします。

松崎若美委員 : 子どもが通っていた小学校で、内装に木の壁があって素敵だったと記憶していますが、時間が経つとやはり劣化してしまい、残すことは難しかったのでしょうか。新しい内装は吹き抜けやコンクリート打ちっぱなし等が採用されていて、今の建築基準に対応した改修が必要だったのだろうとは思いますが。

事務局回答 (荒川施設係長) : 当時の小学校と、現在の不特定多数の人が利用する施設では、建築基準法や消防法の基準が異なります。そのため再整備にあたり、多くの木材部分を不燃材に変更するなど、現在の基準に合わせた構造・内装としています。スライドでは全てを御紹介しきれませんでした。当時の校舎で使われていた木製建具などは一部の部屋で再利用いたします。

松崎若美委員 : 音楽室に関して、当時はピアノがあったと思いますが、処分されてしまったのでしょうか。

事務局回答 : 残されていたアップライトピアノについては、修繕し

- (アートコーディネーター 平野) : 使用できるかどうか、現在調査中です。それとは別に、施設の備品として新しくピアノを1台導入する予定で、調達手続きを進めています。音楽室での使用を想定しており、来年度中に設置予定です。
- 松崎若美委員 : 1週間ぐらい前に通りかかったのですが、体育館が解体されて、駐車場部分がかなり整備されていました。
- 田中秀夫委員 : ただ、入口の表示が少しわかりにくいという気がします。動線をもう一度確認していただき、外部からのアクセスを明確にした入口表示をお願いします。
- 事務局回答(荒川施設係長、アートコーディネーター 平野) : 案内看板の設置を考えており、408号線の田中保育園入口看板の近辺に、わかりやすい目安となる看板を配置する予定です。補足として、物理的な看板と同時に、ウェブサイト・SNSも活用してアクセス情報を分かりやすく伝えられるよう、工夫していきます。
- 中川委員 : 廃校となった小学校を利活用する事例は、全国でもさまざまに見られます。そうした中で、地元がつくばではない市民の方々にも、この施設の活動を「自分ごと」として感じていただくことが重要ではないかと考えています。実施されるプログラムの内容によって、新しくつくばに住み始めた人たちにもこの場所を身近に感じてもらえるのではないかと思います。現在検討されているプログラムのアイデアがあれば、ぜひ教えてください。
- 事務局回答(アートコーディネーター 平野) : 今年度の後半からプレオープンという形で開いていく予定なのですが、現在のアイデアベースでは、この場所でやってみたいことを市民の皆さんから募集し、「この部屋を使ってみたい」「こんな企画をやってみたい」

といったアイデアを試せる期間を設けられたらと思っています。地元の方だけでなく、新しく引っ越してきた方や学生にも、この施設を知ってもらう機会にしたいです。どうしてもアクセス面の制約があるのですが、その分、実験的で少し自由度の高い取り組みができる場になるのではと思います。一方で、市の施設として条例や利用ルールの整備も必要なため、委員の皆さまと相談しながら適切な形を検討していきたいと考えています。

高嶋委員 : 他の文化施設の例ですが、日本の著名なアーティストや学生、海外のアーティストなどを招き、一定期間滞在して制作してもらう取り組みが行われています。制作の様子を動画で記録し、SNSなどで発信する事例も多いです。こうしたアーティストの滞在制作や発信も、今後この施設で可能になるのではないかと思います。いかがでしょうか。

事務局回答 (アートコーディネーター 平野) : アーティスト・イン・レジデンス (AIR) のように、長期間スタジオを利用して制作していただく事業は計画しています。ただ、「つくばアートスタジオたみやま」には宿泊機能がないため、当初は近隣のアーティストにスタジオに通っていただきながら制作してもらうなど、より地元型の形式になると想像しています。一方で遠方からの利用の希望もあると思いますので、市内で滞在しやすい場所の情報収集や、大学など関連機関との連携づくりを進めています。もし制作を希望するアーティストや学生がいれば、ぜひ情報をお寄せいただければありがたいです。

- 高嶋委員 : そういったときに、地域と連携しやすいアーティストであれば、ワークショップなども柔軟に実施してもらいやすいと思います。また、知名度のあるアーティストを招聘することで、地域とのつながりに加えて、施設や活動の発信力も高まるのではないのでしょうか。
- 萩原委員 : 私は「つくば子ども劇場」に所属しているのですが、12月にイベントをやりたいと考えており、もしできればこの施設を利用したいと考えています。プレオープン時のこけら落とし事業のようなものについて、既に市で決めたものがあるのか、それとも市民から公募で募集するのか教えていただきたいです。もし公募なら、子ども劇場も参加の意思を示したいと思います。
- 事務局回答 : 先のとおり、公募事業も実施する予定ですので、ぜひ
(アートコーディネーター 平野) お願いします。正式な情報公開が条例制定後の6月以降となるため、劇場の皆さんからするとギリギリとなってしまい恐縮ですが、適切な形でお知らせできるようにしたいと考えています。
- 林委員 : これから「つくばアートスタジオたみやま」で見たい企画としては、市民や学生が参加できるプログラムはもちろんですが、「ここでしか出会えない作家」との出会いにも期待しています。コーディネーターである平野さんの企画によって、見せたい・伝えたい作家を招くというキュレーションの視点も重要だと思います。また、できれば海外の作家にもこの場所の存在に気づいてもらえるような工夫ができないかと感じています。夏のメディアアートフェスティバルで実施していた高エネルギー

加速器研究機構 (KEK) との協働 (サイエンスハッカソン) もとても良かったです。

事務局回答 : 「たみやま」で実施されるプログラムには多様な形態 (アートコーディネーター 平野) があって良いと考えています。アートコーディネーターが企画するもの、市民公募によるもの、作り手だけでなく企画したい人の公募など、複数の枠組みがあることで、多様な展覧会やプログラムが実現できると思います。

個人的に、「たみやま」がオープンしたら、全ての部屋で常に何かが起こっていないといけないのでは…という気持ちに駆られるのですが、現状のスタッフ体制では対応しきれないことも懸念されます。運営マネジメントのバランスをどう取るかも非常に悩ましい部分です。

また、KEK との連携は非常に良かったと思います。今年度リサーチ滞在されたアートユニットの片岡純也さん・岩竹理恵さんも研究者や職員と良い関係を築いてくださいました。「たみやま」内には宿泊場所はありませんが、KEK のような近隣の研究機関には外部研究者向けの宿泊施設もあるため、今後もこのような連携が進むと良いと思います。

野中会長 : 運営に関わるサポーターのような人たち、つまり仲間を増やしていくことも必要なのではないかと、ということ話を聞いていて感じました。

あさの委員 : 創作施設ということで、視覚芸術が中心になると思いますが、視覚障害の方や車椅子ユーザーの方など、様々な利用者がいます。イタリアなどの海外の美術館では、彫刻を触って鑑賞する試みが行われています。こうした

- 多様性への配慮を、心に留めていただきたいと思います。
- 事務局回答 (アートコーディネーター 平野) : 茨城県福祉部障害福祉課が「茨城県障害者芸術文化活動支援センター」という事業を運営しており、去年は、県北・県央・県南それぞれの地域でワークショップと成果展の開催を実施していました。県南の自治体であるつくば市として、これから事業連携の可能性を探ってゆきたいと考えています。
- 林委員 : 拠点にはたくさんの部屋があり、何かやらないといけない…という時に、筑波大学のアートコレクションをぜひ活用していただきたいです。非常にたくさんの作品を所蔵しており、常設できそうなものもあります。運搬と設置の費用を手配していただければ、大学が協力することも可能です。見せる機会が少なくて困っているので、活用していただきたいです。また、展示室空間の機能面について、施工が完了する前に事前に協議する機会を持てればと思います。
- 田中秀夫委員 : 屋外の庭部分に、彫刻を何体か設置するのはどうでしょうか。建物と庭があり、筑波山が見える素晴らしいアート施設だと私は思うのです。そこを利用する様々な人がアイデアを得られるような仕組みが必要だと思います。ネームバリューのある作家の作品を展示するのは大変ですから、有名になる前の学生の作品など、それが光って見えるような工夫があると良いのではないのでしょうか。また、定年を迎えた年代で芸術活動を実践する方もたくさんおりますので、そうした層からの参加も視野に入れるべきだと思います。

【自主事業「つくばアートラボ」について】

林委員 : アートラボは芸術文化創造拠点をオープンするための基盤づくりとしての枠組みであるということですが、事業の見え方が少し分かりにくいと思いました。今後は開催ごとに事業タイトルを統一させるなど、「あれがアートラボなんだ」と市民が認識できるようにした方が良いと思います。今年度は4回開催しているのですが、次年度も回を重ねると10回に達するかもしれません。アーカイブ的にも、今からでも名前の付け方を工夫した方が良いと思います。

事務局回答 (アートコーディネーター 平野) : アートラボは、創造拠点の計画と並行して2022年度から始まっています。旧田水山小学校の教室を使った滞在制作や、カピオでの落語など、様々な自主事業を「アートラボ」と呼称して実施してきました。御指摘いただいたとおり、施設の正式名称が決まったことでもあるので、事業の見え方を整理すべきタイミングだと思っています。

松崎若美委員 : 「アートラボ」の企画は大変素晴らしいと思うのですが、スライドを拝見すると子どもの参加が多いようです。こういった企画は子ども向けのみで、大人対象のものはないのでしょうか。

事務局回答 (アートコーディネーター 平野) : 対象に「小学生以上」と表記すると、市民の方には「小学生向け」と受け取られる場合が多いという気づきがありました。今後は子ども向け・大人向けなど対象分けて発信する必要があると考えています。子ども向けプログラムへのニーズの高さも感じているため、市民の皆さま

が何を求めているのかを調査しながら、企画内容を検討していきます。

【文化芸術振興事業「ぱんだ吹奏楽クリニック」について】

あさの委員 : 素晴らしい事業だと思うのですが、これは中学生の部活動の地域展開との連携も想定されているのでしょうか？

事務局回答 : 学校の先生方向けに事業の説明した際に、そういった質問もいただいております。ただ、現段階では、これが部活動の地域展開の受け皿になるといった具体的な方向性は定まっていません。ただ社会の流れとしてそういったニーズがあることは承知しており、また財団側とも連携し、検討して参ります。

あさの委員 : ぜひ前向きに検討していただきたいです。特に音楽系の部活動は、運動部と比べて受け皿が少ないので、こうした公共事業との連携は非常に重要だと思います。

【文化芸術振興事業「つくばで第九」について】

あさの委員 : エントリー方法が昨年から変わったと聞いています。その背景と、今年状況について教えてください。実は応募ができなかったという人から、「電話が繋がらない」「仕様が複雑だ」といった複数の声を聞いています。

事務局回答 : 今年度の受付方法は、開始前に実行委員会内で多くの議論がありました。電話受付のみの場合、勤務中で電話ができない方が参加しづらいという課題も指摘されました。そのため今年度は、電話では名前等のみを伺い、詳細な手続きは1週間以内に事務所で行っていただく方式に変更しました。これによって、都合のよい時間に手

続きできるよう配慮しています。実行委員会でもこの方法が最適かどうか引き続き検討しており、来年度に向けてはインターネット受付や、希望者数に差があるパート別に受付方法を分けるなど、より公平な参加方法を模索しています。

【カピオ別棟のカフェ運営事業について】

あさの委員 : 事業の形態としては委託になるのでしょうか。事業費の拠出があれば教えてください。また、事業者の選定委員会はどのようなメンバーだったのでしょうか。最後に、駐車場の割引など優待があるか教えてください。

事務局
(荒川施設係
長) : 選定された事業者の方に建物を借りていただき、賃借料を市にお支払いいただく形になるため、市からの拠出はございません。選定委員会は、市民部長をはじめとする市職員と外部委員で構成しました。なお、駐車場については事業者側でお客様用の場所をご用意いただく想定のため、料金の割引有無等については現時点では決定していません。

野中会長 : 委員の皆さま、ご審議ありがとうございました。
今回をもちまして、令和7年度の審議会は最後となります。来年度も皆様に多様な意見をいただきながら、つくば市の芸術文化推進のための議論を深めていければと思います。

矢口課長 : 野中会長、議事進行ありがとうございました。委員の皆様におかれましては、貴重なご意見、誠にありがとうございました。

4 その他 特になし

5 閉会

令和7年度 第3回つくば市文化芸術審議会 次第

日 時 令和8年(2026年)3月13日(金)
14時00分から
場 所 つくば市役所コミュニティ棟1階
会議室2

1 開会

2 あいさつ

3 議事

報告事項

- ・つくば市芸術文化創造拠点整備事業について
- ・令和7年度芸術文化推進課下半期事業報告
- ・令和8年度の予定について

4 その他

5 閉会

配布資料

- 資料1 名称決定報告
- 資料2 つくば市芸術文化創造拠点工事の進捗状況について
- 資料3 つくば市芸術文化創造拠点展望デッキ説明資料
- 資料4 芸術文化推進課下半期事業報告資料一式
- 資料5 令和8年度予定表

つくば市芸術文化創造拠点の名称決定について

現在整備中のつくば市芸術文化創造拠点の開設に先駆け、施設の名称が決定しました。

1 正式名称

つくばアートスタジオたみやま

2 名称の作者

石川県在住の上野 郁代（うえの いくよ）さん（30代）

筑波大学芸術専門学群の卒業生、現在は石川県で剥製作家として活躍中。

3 選定理由

「スタジオ」の言葉により施設のビジョンが簡潔に表されていること、「つくば」という地名のみならず「たみやま」を入れることで、小学校の歴史を受け継ぎ地域に長く愛される施設になってほしいという私たちの願いも反映できることから選定した。

「たみやま」は漢字で書くと「田水山」となり、その字のとおり田んぼ、水、山が一緒になった美しい場所で、子供から大人まで、読みやすく、やさしい音の響きを大切にするため、ひらがなの表記とすることを作者の方に承諾を得た。

4 応募総数

104件

5 今後の予定

今回決定した名称をもとに、ロゴやウェブサイト作成を進める。また、広報4月号にて市民へ報告する。（3月12日の定例記者会見ではメディアに報告済み。）

名称の作者へは、施設完了後の各種イベントなどへの招待を検討中。

7-8国補(仮称)
つくば市芸術文化創造拠点整備工事

工事の進捗状況について

- ①外構工事の変更について
- ②全体工事の進捗状況について

①外構工事の変更

×変更前

プール全体を利活用
展示スペース、展望デッキ
を設置



○変更後

既存プール全体を解体
既存擁壁の解体
盛土をして整地、法面整形
展望デッキ部分は地盤改良をし、
コンクリート仕上
プール跡は土間コン仕上げとし、イベント、
劇、展示スペースと利用
展望デッキ向きの変更
※より筑波山の眺望を生かした構造とした

②全体工事の進捗状況について

全体工事として、(2月現在)

屋根、外壁改修工事が完了

校舎3階部分 天井、内壁のボード張り終了

塗装工事が開始

電気、機械設備の配管、器具取付

体育館の解体工事が終了

令和7年度 全体の40%完了予定

■ 工事名
5-6市単つくば市文化芸術創造拠点基本・実施設計業務委託

■ 建築主
住所 〒305-8555
茨城県つくば市研究学園1丁目1番地1

氏名 つくば市長 五十嵐 立青 様

■ 敷地概要
地名地番 茨城県つくば市水守820番
住所表示 -
敷地面積 1,777 m²
前面道路幅員【表側】 4 m 市道1-4611号線(茨42条1項1号道路)

用途地域 指定なし(区域区分:市街化調整区域)

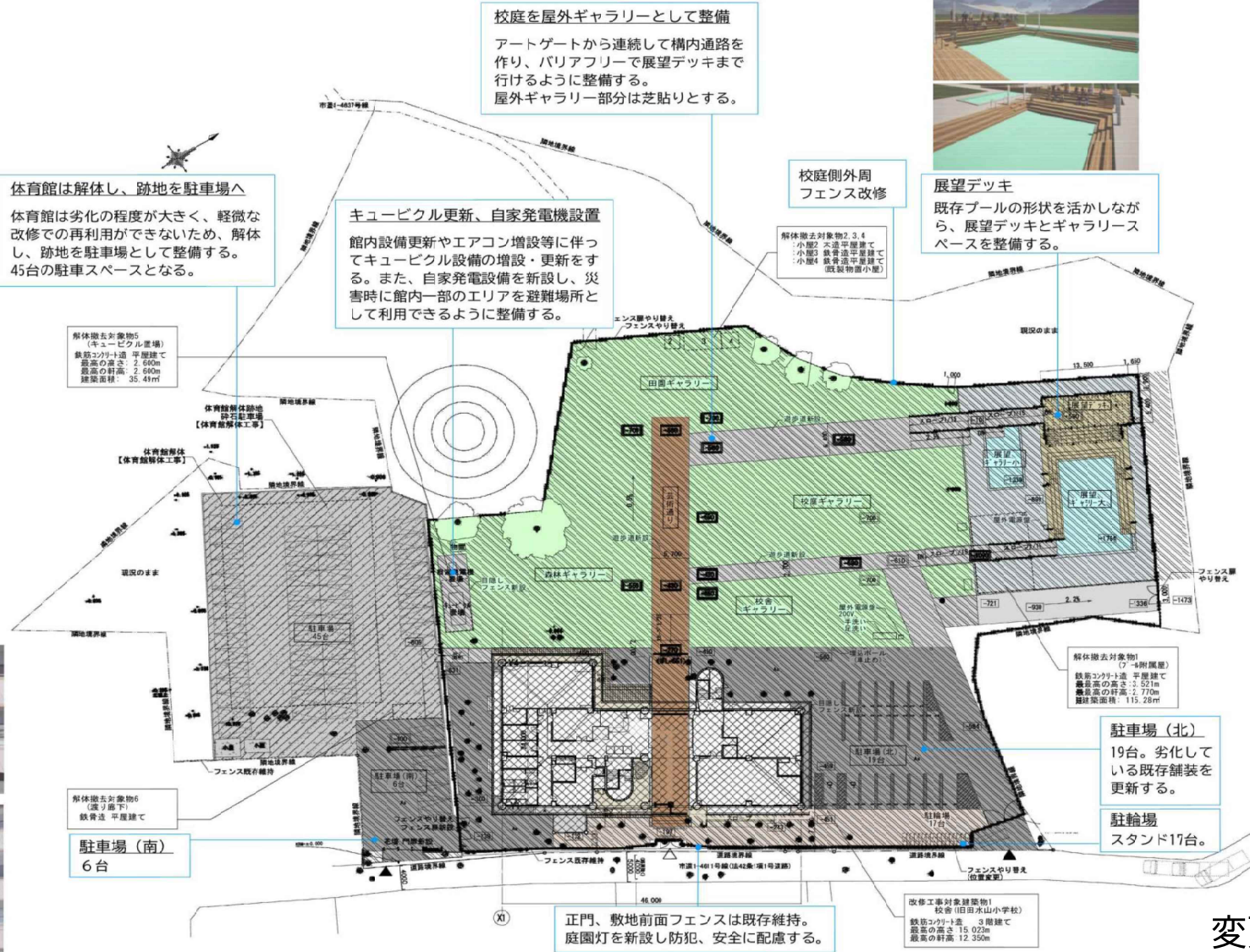
指定建築率(60%)
指定容積率(200%)

防火地域 無指定
22条地域 無指定

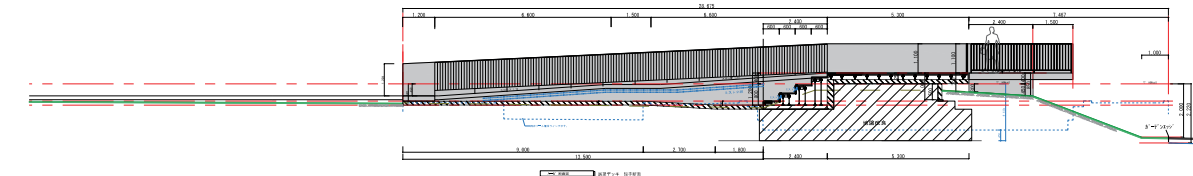
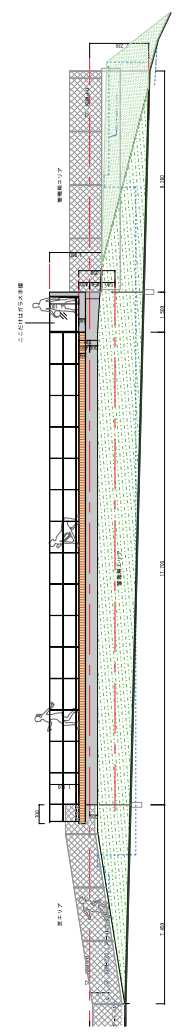
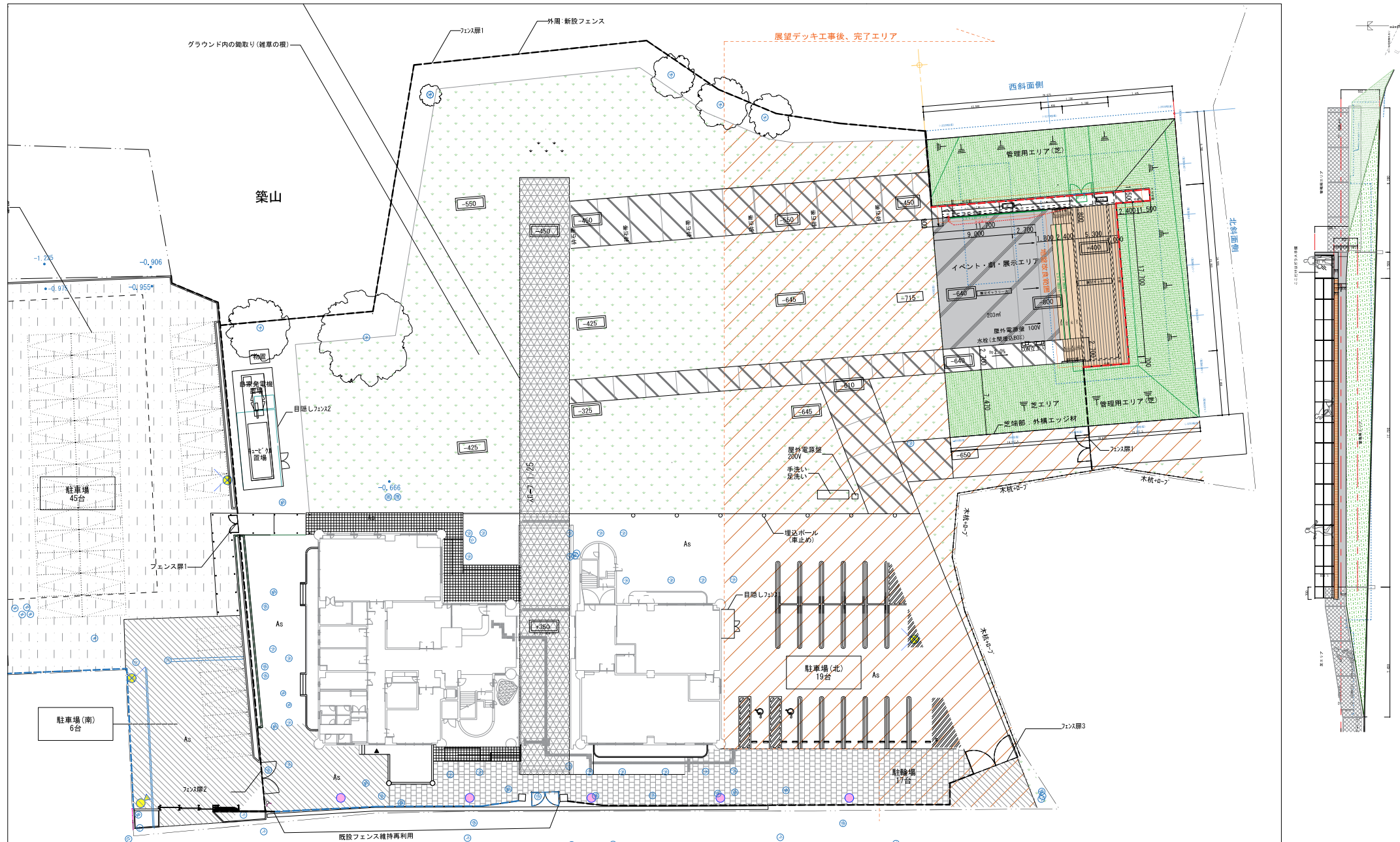
■ 改修後建物概要
主要用途 0890 その他(製作アトリエ、音楽スタジオ、事務所)
構造-階種 鉄筋コンクリート造 地上3階
■ 既存建物概要
主要用途 08080 小学校
構造-階種 鉄筋コンクリート造 地上3階

建築面積	1,121.16㎡	-	㎡	合計	1,121.16㎡
建築率					
延べ面積	既存部分	-	㎡	合計	2,381.68㎡
容積率					

■ 工事概要及び工事項目
改修工事にあたり 以下の工事を行う
1) 耐震改修工事 1式
2) 建築工事 1式
3) 電気設備工事 1式
4) 機械設備工事 1式



変更前



变更后

工事名称	7-8 圓補 (仮称) つくば市芸術文化創造拠点整備工事	図面番号
図面名称	展望デッキ変更 外構平面図	
作図日	2026年1月27日	縮尺 A1) 1:200 A3) 1:400

文化芸術振興事業実施報告

1 事業概要

つくば市文化芸術振興事業は、つくば市民等に優れた芸術文化作品を紹介するとともに、近隣の自治体及びTX沿線の住民にも事業を広く周知し、芸術文化による集客やつくば市のイメージアップを図ることを目的とする、つくば市とつくば文化振興財団の共同事業。

集客力や認知度重視ではなく、様々なジャンルから厳選し、市民に多様なプログラムを提供する。

2 実績(年間)

鑑賞型事業 15事業

参加・体験型事業 5事業

絵画の制作表彰事業 1事業

3 事例紹介

☆劇団ラ・バラッカ「ファミリエ」☆

イタリア・ボローニャを拠点に、子どものための演劇を上演し続けている児童劇団「ラ・バラッカ」による全年齢対象のセリフの無い芝居。カピオホールでの公演に加え、市内小学校や保育所でのアウトリーチ公演や大人向け・親子向けワークショップの開催など、多岐にわたる事業を展開した。

☆第3回ぱんだ吹奏楽クリニック&演奏会☆

中高生を対象に、プロの演奏家による合奏指導を行い、その成果をノバホールで発表する取組み。今回は52名の中高生がみどりの学園義務教育学校で練習を重ね、3月8日に成果発表会を行った。

☆つくばで第九☆

毎年12月29日にノバホールで行われる、年末の風物詩。120名以上のメンバーが夏から20回以上の練習を重ね、本番に臨んでいる。毎年チケットが完売するほどの盛況ぶりで、参加者・観客ともにリピーターも多い。

令和7年度つくば市民文化祭実施報告

1 概要

市民の文化芸術活動への参加意欲を喚起し、自主的な文化芸術活動の促進を目的に、毎年11月につくば市民文化祭を開催している。市内7つの会場において、市民が日頃から取り組んでいる創作活動の成果を表現する場となっている。

2 会期・会場

会期:2025年11月1日(土)、11月2日(日)10:00~16:00

「ノバホール音楽会」11月8日(土)、9日(日)

「コリドイオフェスタ」11月9日(日)

会場:市内7会場

- ・筑波会場(筑波交流センター、市民ホールつくばね)
- ・大穂会場(吉沼交流センター)
- ・豊里会場(豊里交流センター、豊里体育館)
- ・谷田部会場(谷田部総合体育館・市民ホールやたべ)
- ・桜会場(桜総合体育館、流星台プレイパーク)
- ・荃崎会場(荃崎交流センター、市民ホールくきざき)
- ・中央会場(つくばカピオ、さくら民家園、ノバホール、コリドイオ)

3 主催、協賛、後援

主催:つくば市民文化祭実行委員会、つくば市、つくば市教育委員会

協力:公益財団法人つくば文化振興財団、つくば市文化協会

4 実施内容

ステージ部門:器楽、日本舞踊、バレエ、フラダンス、コーラス、カラオケなど

展示・その他部門:絵画、書道、茶道、華道、工芸、俳句、川柳、将棋、工作や絵画のワークショップなど

5 参加者数・来場者数

参加者数:4,380人(365団体)

来場者数:22,525人

令和7年度
つくば市文化芸術振興事業一覧

分類	No.	対象	事業名	日程	会場	内容	備考
主催	音楽	1	一般・高齢者 神津善行プロデュース ポピュラーコンサート	6/26	ノバホール	スイング・ジャズを中心に様々なポピュラー音楽等を紹介してきたシリーズ公演。今回は歌謡曲をテーマに、神津氏の作品を交え、往年の歌謡ポップスにスポットを当てる	
	演劇	2	一般 終戦80周年記念 こまつ座 「父と暮らせば」	7/25	つくばカピオホール	こまつ座の代表作の1つでもある、原爆投下後の広島を舞台に被爆した父の亡霊と娘を描いた二人芝居。出演は、松角洋平、瀬戸さおりを予定。	
	音楽	3	一般 福間洸太郎「ショパンとショコラ」 バレンタイン・ピアノ・コンサート	2/14	ノバホール	今年日本デビュー20周年を迎える、ピアニスト福間洸太郎。作曲家ショパンとショコラの意外なつながりとは!?ナビゲータ・浦久氏の解説とともに、気軽に楽しめるピアノ・リサイタル。	
鑑賞型事業 共催	演劇	4	親子・子ども かかし座 影絵公演 「ジャックと豆の木」	5/24	つくばカピオホール	光と影の色彩豊かな影絵で物語を表現するかかし座。新作の「ジャックと豆の木」を上演予定。別演目だったが、一昨年、昨年の上演では、子どもから大人まで高評価だった。	
	音楽	5	一般 古澤巖の品川カルテット コンサート	6/12	ノバホール	古澤巖は日本を代表するヴァイオリニスト。若手弦楽演奏家とともに結成した「品川カルテット」により、古典及び現代曲によるプログラムを予定する。	
	音楽	6	高齢者 歌声カルテットの 昭和歌謡コンサート	7/27	ノバホール	人気急上昇の実力派カルテットグループ〈歌声カルテット〉。声楽家（テノール、バリトン）・ヴァイオリン・ピアノの4人組が、誰もが口ずさむ懐かしの昭和の名曲を届ける。	
	音楽	7	一般 渡辺貞夫 カルテット 2025	9/23	ノバホール	ジャズ界のスーパー・レジェンド、御年91歳にして現役のサクソ奏者・渡辺貞夫率いるカルテット（サクソ、ピアノ、ベース、ドラム）のジャズ・コンサート。	
	音楽	8	親子・子ども ピアノの森 ピアノ コンサート 2025	10/18	ノバホール	一色まこと作『ピアノの森』の世界をトークとピアノの演奏で楽しむコンサート。同作のTVアニメにてパン・ウェイの演奏を担当したニューニュー（中国）が出演。「革命」や「英雄ポロネーズ」など作中に登場する名曲を演奏予定。	
	舞踊	9	親子・子ども キーウ・クラシック・ バレエ 「白鳥の湖」	10/19	ノバホール	チャイコフスキーの3大バレエで毎年好評得ているキーウ・クラシック・バレエ。3大バレエでも一番の人気を誇る「白鳥の湖」を上演予定。	
	演劇	10	親子・子ども 劇団ラ・バラッカ 演目未定	10/19	つくばカピオホール	イタリアの児童劇団ラ・バラッカの演劇公演の第2弾。令和6年度公演はチケットが完売。セリフが無い、身体だけで表現するスタイルの芝居は、幼児のみならず、乳児までも興味を示し、集中して観劇した。	
	音楽	11	一般 ハリトーノフ ピアノ・リ サイタル	11/22	ノバホール	2015年のチャイコフスキー国際コンクールでは3位入賞をはじめ様々な国際コンクールで入賞実績がある、ダニエル・ハリトーノフ（ロシア）によるピアノ・リサイタル。	

分類	No.	対象	事業名	日程	会場	内容	備考	
	音楽	12	一般	稲垣潤一 ライブ・コンサート	12/6	ノバホール	「クリスマスキャロルの頃には」、「夏のクラクション」などのヒット曲を持つ、ヴォーカリスト稲垣潤一。ドラムを叩きながらのヴォーカルというスタイルは80年代のポップス界で脚光を浴びた。	
	講演・音楽	13	一般	KEK レクチャー&コンサート 科学と音楽の響宴 2025	12/7	ノバホール	科学と芸術(音楽)に共通する創造性をキーワードに、KEK との連携事業として行う。つくばならではのオリジナル企画として20年以上続き、毎回市民に好評。	
	音楽	14	一般	ニューイヤーコンサート ウィンナー・ワルツ・オーケストラ	1/6	ノバホール	サンドロ・クトゥレロ率いる室内オーケストラ。ソプラノ歌手が歌うオペレッタの名曲、4名のダンサーが優雅に舞う演出が観客を魅了。「美しく青きドナウ」、「ラデツキー行進曲」など目と耳で楽しめる新春スペシャルコンサート。	
	音楽	15	一般	杉山清貴 コン서트	1/24	ノバホール	1983年、杉山清貴&オメガトライブとして「SUMMER SUSPICION」でデビュー。1986年、「さよならのオーシャン」で、ソロ・デビュー。80年代のミュージックシーンを疾風のごとく駆け抜けたJ-POP/J-AORのカリスマ的存在。	
参加・体験型事業	主催	音楽	1	一般	小倉良の All that Music!	未定	つくばカピオホール	毎回、多彩なゲストを招いて実施する All that Music! 作曲家・小倉良がプロデュース&ナビゲートする音楽講座を、3回にわたり開催する。
		音楽	2	一般	第18回つくばで第九	12/29	ノバホール	年末恒例のベートーヴェン第九公演。公募による市民合唱団を編成し、半年の練習を経て、プロのソリスト、オーケストラとともに、年末公演に臨む。
		音楽	3	中高生・一般	第3回ばんだ吹奏楽クリニック&演奏会	12月~ 2月	市内中学校 ノバホール	中高生を対象に、プロのばんだウィンドオーケストラのメンバーを講師に迎え、楽器演奏クリニックを実施し、成果発表演奏会をノバホールで開催。過去2回のクリニックでは、参加者から「また参加したい」などの声があった。
	共催	演劇	4	子ども	劇団かかし座アウトリーチ	5/14	市内小学校	鑑賞型事業 No.4 に関連して、劇団かかし座俳優による影絵ワークショップを実施する。実施校は公募による小学校高学年を対象予定。
		音楽	5	子ども	公共ホール邦楽活性化事業令和8・9年度登録演奏家実地研修	2/4~ 2/5	市内小学校	(一財)地域創造が行う「公共ホール邦楽活性化事業」の新人アーティストの実地研修を受け入れる。市内小学校に箏や笙などのアーティストを派遣し、参加型コンサート・ワークショップ等を実施。
絵画の制作表彰事業	共催	美術	1	子ども	夏休みアート・マルシェ & アートたんけん隊	7月 8月	筑波大学 ほか	筑波大学との連携共催事業として、夏休み期間に実施(2日間)。小中高生を対象に(公募)大学構内において写生会を開く。後日、優秀作品の表彰、全作品の展示を行う。

アートラボ実績報告

	第1回	第2回	第3回	第4回
名称	「駅前アート体験☆彫刻ピカピカプロジェクト」	冬のアートプログラミング体験！	冬ごもりプロジェクト：「二人で絵を描く会」	冬ごもりプロジェクト：「手で作る風景一色に出会おう」
日時	9月23日（火・祝）	12月7日（日）	1月24日（土）、25日（日）	2月21日（土）、22日（日）
場所	中央公園 科学モニュメントエリア	つくば文化会館2階アルスホール	筑波交流センター工作室	島名交流センター工作室
内容	中央公園にある屋外彫刻の鑑賞及び清掃を通じ、その魅力やメンテナンスについて考える	創作とプログラミングを楽しく体験できるワークショップ	講師と1対1で対話をしながら、同じテーマについてそれぞれに絵を描く時間を楽しむ	景色や風景を観察したり、偶然やひらめきに任せたりしながら、新しい色の組み合わせを探してみる
講師	宮坂慎司、川島史也、羽室陽森（ともに筑波大学芸術系教員）、学生スタッフ	株式会社Griteen 筑波大学アート・デザインプロデュース（ADP）「子どもアートプログラミング」チーム	井上拓哉 （世界各地を旅する中で風景や人々との出会いを通じて、人の普遍性を主題に絵画作品を制作。）	古橋香 （丘陵、水面、光、網などのある身近な眺めを起点に、薄い絵具の滲みと触覚的な厚塗りが共存する絵画を制作するペインター）
参加者数	14名	26名	5名	9名
				

つくばショートムービーコンペティション 2026 実施報告

1 概要

全国から短編映像作品を公募して開催するコンペティションで、つくば市出身の映画監督・中村義洋氏を審査員長として招き、地域に根付いた事業への成長を目指している。「つくばショートムービーコンペティション」として平成25年度(2013年度)の第1回以降、今回の「つくばショートムービーコンペティション2026」は第13回となった。

2 開催日時、場所

日時:令和8年(2026年)3月1日 13:30 から

場所:つくばカピオホール

3 主催、協賛、後援

主催:つくばショートムービーコンペティション実行委員会、つくば市

協賛:(公財)つくば文化振興財団、(一財)つくば都市交通センター、
(公財)つくば科学万博記念財団、(株)ワコム、(株)ウィットスタジオ、
(株)ジェイ・エス・ビー・ネットワーク

協力:日本国際学園大学、(一社)つくば観光コンベンション協会

後援:ラヂオつくば、ACCS

4 受賞作品

グランプリ: あたりまえの奇跡(アニメーション作品)

準グランプリ: Alien in The Smartphone

つくば市長賞: TSUKUBA |
変わらないものと、変わりゆくもの

つくばエキスポセンター賞: SHOT

ウィットスタジオアニメーション賞: RAMEN

ワコム賞: RESTART 御社を攻略せよ

ユニライフ・スチューデント賞: Silent Colors

ショートショート部門賞: コピペ

市民審査員賞: RESTART 御社を攻略せよ

5 来場者

136名(内訳/ 一般観覧73名、市民審査員34名、ノミネート者関係19名、実行委員等関係者9名、プレス1名)

つくばカピオ別棟運営事業者募集実施報告

1 概要

つくばカピオ別棟において、市民が気軽に立ち寄れるカフェを運営する他、多様な市民が交流できる体験型・参加型のアート事業を実施し、市民がアートに親しむ機会を創出するとともに、中心市街地の居場所となることを目的に締結する賃貸借契約に関し、企画提案方式(以下「プロポーザル」という。)による事業者を募集する。

2 選定委員会の開催

日時:2025年(令和7年)12月9日(火)14:00から

場所:つくば市役所コミュニティ棟1階会議室3

3 審査結果

提案者 2者

(株)トレ・マッケローニ

A社

プレゼンテーション及びヒアリングについて、提案者毎に選定委員7名による評価点の合計で順位を付け、原則として第1順位の最も多い者を候補者として(株)トレ・マッケローニを選定した。

つくば市芸術文化推進課令和8年度事業予定

4月	つくば市芸術文化事業会場費補助金受付開始 つくばカピオ別棟 運用開始 つくばカピオ フリーWi-Fi 供用開始
5月	
6月	
7月	アートマルシェ
8月	
9月	つくばアートスタジオたみやま建物棟整備工事完了（予定）
10月	
11月	つくば市民文化祭、ノバホール音楽会
12月	つくばアートスタジオたみやま全体工事完了（予定） つくばアートスタジオたみやまプレオープン、つくばで第九
1月	
2月	
3月	つくばショートムービーコンペティション 2027

【時期未定の事業】

- ・ アートラボ（年3～4回程度）
- ・ つくば市文化芸術審議会（年3回程度）